

空素沼魂 今なお健在

水泳部OB・紫水会

6月25日紫水会（水泳部OB会）総会を秋田市の協働大町ビルで開催した。参加者は昭和25年卒から41年卒までの13人。矢野会長の挨拶の後それぞれの近況報告になったが、4月下旬の肌を刺す冷たい空素沼（からすぬま・高清水公園内）の水に入っただけの厳しい練習など、60年前にタイムスリップして話の尽きない会になった。

また、全日本および世界マスターズ大会に出場し活躍している西野孝男さん（昭和29卒）と彫刻制作50周年作品集を出版した小柳力さん（昭和35卒）も参加し、今なお現役で活躍している2人に称賛と激励の声が上がった。

今、紫水会は空素沼での練習を経験した年代の集まりになっているが、その後の若い年代の参加を願っている。
（斎藤紀明＝昭和35卒 記）



気持ち新たに喜寿の祝い

32会総会

平成26年9月5日、32会の総会がホテルメトロポリタン秋田において実施されました。今年の案内状はサブタイトルに「喜寿だよ全員集合!!」ということで、全国の同志が41人（県外から8人）参集して開催されました。

総会の前にホテル内の神殿で、神官から喜寿の祝いの祝詞を受け、新たな気持ちで総会へと臨みました。記念品として校章のマークが記された茶碗が配られ、総会は武藤会長の祝辞に始まり、会務報告、祝宴へと移りました。総会資料に昭和32年卒業時のクラスごとの写真が掲載されており、宴は一気に当時の駅前校舎の高校3年生へとタイムスリップし盛り上がりました。

久しぶりでレディの出席もあり、華やかに楽しくあっという間に中締め時間となり、佐々木信吾副会長より、「6年後の東京オリンピックを目指し健勝を祈る!」との檄が飛び、校歌の大合唱で幕を閉じました。（園安志郎 記）



卒後15年 個性派大集合

平成11年卒同期会

平成11年卒の卒業15周年同期会が今年1月2日、秋田キャッスルホテルで行われた。当日は折からの荒天にもかかわらず恩師9人を含め90人余の出席を得て盛会となった。

5年ぶりの同期会は学年主任の仙波先生による乾杯のご発声でスタート。男性は随分とスーツを着慣れ、女性はどこことなくしっとり落ち着き、酒の注ぎ方も上手くなっている。個性派ぞろいの「仙波学年」も、今や30代も半ばに差しかりつつある。恩師や友人の近況報告はどれも興味深く、手形に通った3年間の思い出話にも花が咲き、会は一気に盛り上がった。

今回温めた旧交を大切にしながら5年後の再会に期待したい。
（三浦大成 記）



万感の思い込め校歌斉唱

秋高八十期会総会

秋高八十期会（昭和29年卒）の平成26年度総会ならびに傘寿を祝う会は5月25日、秋田キャッスルホテルで開催された。「今回で締めくくり」と案内状に入れたせいも、参加者は期待の80人を大幅に上回る90人（県外37人、女子5人）を数える大きな集いになり、翌日の秋田魁新報「北斗星」に紹介されるほどの盛会となった。

当日は、まず亡き156人の同期会員の冥福を祈り黙とう。その後、草薙稲太郎代表幹事の挨拶に続き、恩師の畑澤潤一、山谷浩二両先生からお祝いの言葉をいただいた。懇親会では、卒業以来初めてという感動的対面や遠来の友との交歓があちこちで繰り広げられた。私どもは、駅前校舎で男女共学の一期生として入学。3年時、秋田南高校から秋田高校に改称した最初の年に80周年を迎え、野球部は16年ぶりに戦後初の甲子園出場を果たした。

その我々も傘寿となり、今回で一応全員に案内する総会にピリオドを打つことに決めた。このこともあり、最後の校歌、校友会歌を最初から最後まで万感の思いを込めて歌い上げ、名残りを惜しみつつめでたく会を終了した。

（森谷裕二 記）

